

2022年4月20日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ 歴史の検証』
——変わり続ける元アスリートが、スポーツで社会を変えていく——

第108回 橋本 聖子 氏

(2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会会長)

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区赤坂 理事長：渡邊一利）では、日本のスポーツの歴史を築かれてきた方々のお話をもとにスポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考えるためのスペシャルサイト「スポーツ 歴史の検証」を掲載しています。

2021年度のテーマは「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」。昨夏に行われた2020年東京大会に尽力された方々が、それぞれの立場・視点で大会を振り返ります。

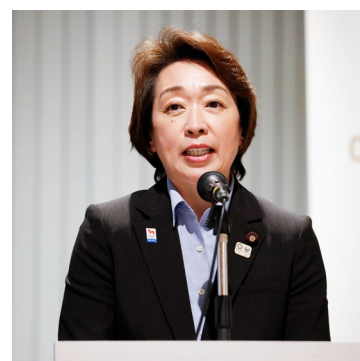
今回登場するのは、2020年東京大会に関わるなかで多くの知見を得、現在は、平等な社会を実現するためのレガシーづくりに取り組む、大会組織委員会会長の橋本聖子氏。1964年東京オリンピックの聖火にちなんでつけられた名を背負い、冬季・夏季両方のオリンピックへの出場に加え、現役アスリート時代に参議院議員としてのキャリアを開始するなど、日本では前例のなかったことをいくつも成し遂げてきました。インタビューでは2020年東京大会の振り返りに加え、橋本氏のそうした力強さの原点となった体験にも焦点を当てています。ぜひご一読ください。

「スポーツ界の社会貢献が問われる時代に」 橋本 聖子 氏

【公開日時】2022年4月20日（水）公開

【URL】https://www.ssf.or.jp/ssf_eyes/history/interview/108.html

スポーツ歴史の検証 で検索ください！



【主な内容】自分の言葉で綴られたスピーチに込められた思い／
圧倒されたパラリンピックで目にしたあるべき社会の姿／使命感で
引き受けた開幕5カ月前の組織委員会会長への打診／病気によって
人生観が変わり、身についた耐える強さ／世界に影響を受けて挑戦
した冬夏大会出場／競技と国会との二足の草鞋を選択した理由／
社会に還元したいスポーツの価値

《プロフィール》

橋本 聖子（はしもと せいこ）氏

1964年生まれ。1980年に史上最年少で世界選手権大会日本代表に選出されたのを皮切りに、スピードスケートで冬季オリンピックに4回、自転車競技で夏季オリンピックに3回出場するなど世界的に活躍。アスリート引退よりも前に参議院議員としてのキャリアを開始し、スポーツの価値の向上やジェンダー平等の推進に尽力する。2021年には2020年東京大会組織委員会会長に就任。

佐野 慎輔（さの しんすけ）氏 / インタビュアー

1954年生まれ。産経新聞客員論説委員、尚美学園大学スポーツマネジメント学部教授、笹川スポーツ財団理事／特別上席研究員。スポーツ記者を30年以上経験し、日本オリンピックアカデミー理事、野球殿堂競技者表彰委員を務める。

＜スポーツ歴史の検証＞概要

【企画制作】公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本スポーツ協会、
公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス